

感動県政 あさのめ 新聞

県庁内に実現！
市民のための広場

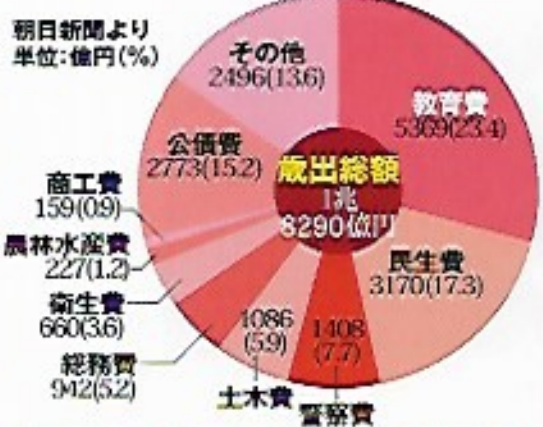
埼玉県議会活動報告 2015.03.15 vol.44

発行 埼玉県議会 民主党・無所属の会 さいたま市浦和支部 〒330-0043 さいたま市浦和区大東 1-11-1-501



埼玉県の平成27年度予算案が、3月13日県議会で成立しました。課題解決「先行予算」と銘を打ち、「とりわけ2025年、10年後に生産年齢人口が2010年比で51万人減少する。この事態を意図した予算にした」と知事は語りました。一般会計総額は1兆8,289億9,800万円。今年度当初比で5.7%増加し、10年度の約1兆9,000億円に次ぐ過去2番目の規模となりました。国の緊急経済対策に伴う26年度補正予算案も併せて編成し、産業振興策の継続に加え、超少子高齢社会を見据えた社会保障政策を重点的に展開。第3子以降の保育料無償化や、男性の不妊治療費助成なども盛り込みました。

平成27年度 埼玉県予算 一般会計計算 環境関連費



「あさのめ新聞」では、何より目を離せない環境対策について、県予算をフォローアップし、お知らせしたいと思います。

平成27年度埼玉県予算・主な施策 [環境関連費]・10年先見据え「先行予算」

- 水素社会実現への取組 (2億3,033万7千円)**
 - 燃料電池車の販売が本格化する2015年を水素元年とし、水素社会実現に向けスタートダッシュ
 - 燃料電池自動車の購入補助(100万円×100台)及び県公用車に率先導入(2台)
 - 県庁内に新たに小型水素ステーションを整備
 - 県有施設への燃料電池発電システム活用の可能性や市町村公共下水処理場における水素製造・活用の可能性など水素利用拡大可能性調査
- 埼玉エコタウンプロジェクト(2億3,272万6千円)**
 - 既成市街地でのエネルギーの地産地消を目指す埼玉エコタウンプロジェクトを拡大・進化
 - 人口密集地域を対象に新たにモデル市町村「高燃エコタウン」を選定し、既存住宅のスマートハウス化(太陽光発電設備の設置、省エネ改修など)に取り組み住民に対し経費を補助
 - ハウスメーカーと協働で「ミコエコタウン」ビジネスモデルを構築し、県内各地で推進するため、当該街区でスマートハウス化に取り組み住民に対し経費を補助
- 都市部のみどりの復活プロジェクト(5,697万8千円)**
 - 都市化の進展に伴い失われた「街のみどり」を創出
 - 県・市町等の庁舎や未利用地のすき間を有効活用して苗木を植栽
 - 2020年「東京オリンピック」のサッカー会場＝埼玉スタジアム2002周辺地域を緑化
- 自立分散型エネルギー社会の構築(15億1,110万6千円)**
 - 分散型電源を拡充し、災害時の最低限の電源確保と代替エネルギーを確保
 - コージェネレーションシステム(熱電併給)導入事業者に対する補助
 - 地中熱等未利用エネルギーの利用可能量や技術的利用可能性を地点・地域別に調査・整理
 - 河川堤防へのメガソーラー設置に向けた設備工法調査(治水安全性の技術的検証)
 - 防災拠点等の県有施設や市町村施設、民間施設への再生可能エネルギー導入・助成
- 家庭の省エネルギー対策(1億7,195万1千円)**
 - 増加傾向にある家庭部門CO₂の排出削減に向け、住宅の省エネ設備導入等支援
 - 省エネ設備導入補助(HEMS+家庭用燃料電池、太陽熱利用システム、地中熱利用システムなど)
 - 高効率給湯、高効率空調、高断熱の窓・外壁など、ゼロエネルギーハウス(住宅の年間一次エネルギー消費量が正味ゼロ)設備導入補助
- 微小粒子状物質(PM2.5)対策(7,015万9千円)**
 - 微小粒子状物質(PM2.5)監視体制のさらなる充実と高濃度の原因究明
 - 自動測定機7台増設(県設置25台→32台、計画：平成29年度末で46台)
 - PM2.5成分分析機を搭載した移動監視車を導入(成分・原因例：硫酸イオン→越境、火山 硫酸イオン→ティーゼル車、工場)

1兆8,290億円

一石を投じる 埼玉県立浦和図書館

次の役割を持たせられぬか



▲図書館内部。圧倒的な読者の書架 回廊式になっており、ここで『北のカナリアたち』の撮影シーンは撮られた。

我が国が誇る建築作家だ。

前川國男さんは、エスプラナードという空間認識を人が憩いながら目的もなく歩く中庭的広場、散歩道と著書にある。囲まれている、自分がプロテクトされて、そこを回遊している感じとも説明をしている。そして、このイメージは、巨匠コルビュジエから教わったと伝えられている。

埼玉会館は、入り口部分の上に庭を造り、そして県立浦和図書館でプロテクトされてこのエスプラナードが完結している。つまり、壊せばエスプラナードは完結しない。壊しては駄目だ。

この県立図書館は昭和35年に完成し、埼玉会館は41年に完成している。県立図書館を設計した人は県の職員さんだが、その立場から、埼玉会館にどんな素晴らしいものが建つか想像していたはず。だから、連結部分が2階になっている。

そしてまた前川國男さんも、図書館を取り込んで設計をしたはずだ。

この浦和図書館の蔵書数は49万6480冊。入館者数の推移は、20年前25万7640人だったのに、現在は15万6007人。県立3館の中



中でも来館者数の下落度が極めて高い。これは、当然さ

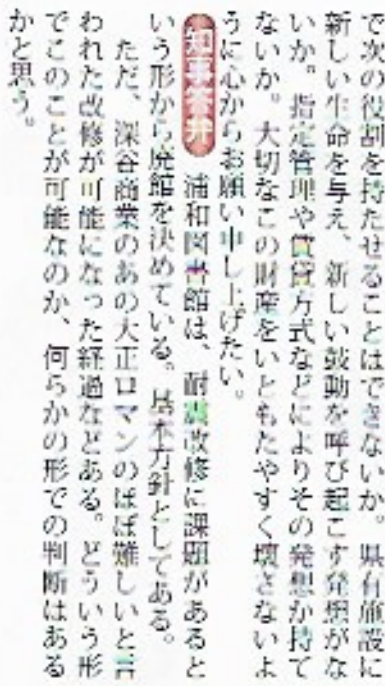
いたま市の図書館の整備状況とリンクしている。さいたま市立図書館の蔵書冊数は334万冊。浦和図書館の蔵書冊数は49万冊。埼玉会館は151万冊。かなわない。

建築時昭和33年には驚くべきことだが、地元浦和市には図書館がなかった。資料をひもとくと、県立図書館のサービスに依存したいという浦和市の意思があり、建築費の2割を出してもらっている。

昭和35年完成の浦和図書館は、多くの県民の皆さん方の知的欲求に答え、多くのドラマを作り、県部浦和の強烈な思い入れのある建物でもある。

いったんは役割を終える建物に対して、別の切り口で次の役割を持たせることはできないか。県有施設に新しい生命を与え、新しい鼓動を呼び起こす発想がないか。指定管理や賃貸方式などによりその発想が持てないか。大切なこの財産をいともたやすく壊さないように心からお願ひ申し上げたい。

浦和図書館は、耐震改修に課題があるという形から廃館を決めている。基本方針としてある。ただ、深谷商業のあの大正ロマンのほぼ難しいと言われた改修が可能になった経過などある。どういう形でこのことが可能なのか、何らかの形での判断はあるかと思う。



▲建築界の巨人前川國男は、埼玉会館に広場（エスプラナード）を設計した（1966年完成）。すでに完成していた県の県立浦和図書館（1960年完成）を取り込むことによって広場は完結した。

あまのめ書庫 3館を1館に集約する構想は支持したい。しかし、浦和図書館は地元浦和の大変思い入れの強い建物だ。

東映創立60周年記念作品『北のカナリアたち』は、2012年制作の日本映画。監督は阪本順治氏。この映画の冒頭のシーンに、この浦和図書館が登場する。昭和35年完成の浦和図書館は県部浦和の強烈な思い

出の建物でもある。いったんは役割を終える建物に対して、別の切り口で、次の役割を持たせようとはできないか。県有施設に新しい生命を与え、新しい鼓動を呼び起こす発想できないか。ル・コルビュジエという建築家、フランク・ロイド・ライトやミース・ファン・デル・ローエとともに近代建築家の3大巨匠だ。このコルビュジエの日本での数少ない、愛弟子と言われる前川國男さんが埼玉会館を設計した。彼が設計した施設はかなりある。東京文化会館、紀伊國屋ビルディング、京都会館、東京都美術館など、

稼動! プロジェクト せんたく

新政治勢力



http://www.nikkan-gendai.com/

民主と連携、推薦も

【本紙記者入野民也】「せんたく」プロジェクトは、民主と連携、推薦も進めている。...

2015 統一地方選

本紙記者入野民也

あさのめ解説 二元代表制と言われます。行政の暴走を議会が抑制するという仕組みです。しかし、埼玉県議会では、議会の中に暴走する勢力が存在しています。「知事選に向けた上田知司を徹底的に弱体化させる」という自民の横暴ぶりが際立っています。

こういった党利党略は、県民の生活とは全く無縁で、県民にとり大変な迷惑です。

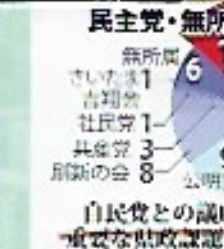
今まで、県議会に触れることには、極めて禁欲的であった県のトップが「県民の袋の緒が切れそう」と意欲を示して、新政治勢力をつくる決断をしたことは、とても良く理解できることです。県議会内には、気に好ましい緊張感が高まっています。県議会の横暴、傍若無人ぶりを断罪し、県政を刷新させるための「プロジェクトせんたく」に、私も参加する決意です。



県議会 自民が上田知事にぶつつける不毛なバトル

一方で「議会改革」進まず

【本紙記者入野民也】「せんたく」プロジェクトは、民主と連携、推薦も進めている。...



議会審議の内容がわからない

●「日経グローカル」(2012.11.5)によれば、「議会改革度」で埼玉県議会が47都道府県中42位です。削減計画が削減改革との進捗が不明になっています。

まず、本会議のTV中継は行われていません。常任委員会のインターネット中継も行われていません。そもそも委員会の議事録はインターネット公開されていません。全国30都府県(83.8%)が公開しているのに対してです。

問題視され続ける政務活動費

●政務活動費は、2007年埼玉県議会が私たちが自治会の同様に率先して独自に全廃し削減してきた歴史があります。以後2009年から、県議会全体として公開するようになってきました。

けれども自民の横暴が、県政議会とは全くほど遠いと感じられる書籍を約300冊(約60万円)を購入していたなどの報道がありました。また知事がセーナーとなっている事務所や社事局に関する資料が、そのままだけに政務活動費として流れている問題も指摘されています。



あさのめは実現させました。



- 埼玉県庁敷地内に6,400㎡
「みどりの広場」をつくらせる^{*1}
- 県労働会館の跡地を
県近代美術館向け駐車場にさせる^{*2}
- 埼玉県観光事業2社に委託集中。
入札のあり方改善させる^{*3}



- 卒業式No.1ソング「**旅立ちの日に**」
の作詞作曲者の偉業称え、
彩の国特別功労賞を与えること実現^{*3}



- 多様な人材で生徒救済。スクールカウンセラー
臨床心理士が独占していること
を改めさせる^{*3}



- 県浦和図書館**廃館。**新たな役割**
持たせて生まれ変わらせる提案する^{*4}
- 埼玉県公立高入試の数学が難しすぎる。
難関校は別に自校問題作成
すること提案する^{*5}

埼玉県議会議員選挙
告示日:4月3日(金)
投票日:4月12日(日)
あさのめ事務所
※4月3日(金)より
「あさのめ選挙事務所」
となる予定です。



〒330-0063 さいたま市
浦和区高砂 3-12-24 小峰ビル 1階
県民健康センター向かい、警察本部庁舎東隣
小峰ビル内ちきん亭さん隣
※駐車場は近隣にコインパーキングなどがあります。
TEL
048-825-6772

あさのめ
浅野 目義英
プロフィール
よしひで



昭和33年(1958年)5月27日東京生まれ。
山形県米沢市育ち。4歳の時埼玉県へ。法政大学社会学部卒。小学校教員を経る。
隣接の上尾市で全国最年少の25歳で市議初当選。
市議4期(25~41歳)。全国最年少の37歳で議長。上尾市長選挙次点敗退。
予備校講師、餅屋でひたすらマグロを切る仕事、武正公一代議士政策秘書
など、政治浪人7年余を経て、
平成19年、「感動県政。」をスローガンに埼玉県議会議員(浦和区)初当選。
平成23年、2期目当選。

f facebook <https://www.facebook.com/yoshihide.asanome>
〒330-0043 さいたま市浦和区大東 1-11-1-501
TEL: 048-883-6560
FAX: 048-881-0527

mail: y-asanome@gikai.pref.saitama.jp
http://www.asanome.com

